

別紙（第5条関係）

会 議 録

会議の名称	令和6年度男女共同参画推進事業（オアシス）助成金審査会
開催日時	令和6年 6月11日（火）午後1時30分～3時30分まで
開催場所	和泉市男女共同参画センター（モアいずみ）研修室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画推進事業（オアシス）助成金審査会審査委員 松田委員、大森委員、久松委員、永井委員</li> <li>・事務局 小池（人権・男女参画室長）、藤原（人権・男女参画室 人権・男女参画担当課長）、坂口（人権・男女参画室人権・男女参画担当総括主幹）、武内（人権・男女参画室 人権・男女参画担当主任）</li> </ul>
会議の議題	令和6年度「男女共同参画推進事業（オアシス）助成金」交付申請に係る助成金の適否について
会議の要旨	令和6年度「男女共同参画推進事業（オアシス）助成金」交付申請に係る助成金の適否について審議を行った。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必要事項	傍聴人：0人

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

(事務局)

開会宣言及び課長挨拶

「和泉市助成審査委員会規則」による 委員長の選出

委員長により議事進行

「和泉市審議会等の設置及び運営に関する規則」に基づき傍聴者の入室を認めていたが、傍聴者なし

本日の会議の議事録公表については、委員名簿は氏名を公表、本会議の個々の発言の要旨については、単に委員と表記し要点記録とする旨及び最終の議事録作成については、委員長に一任することを全委員了承。

(事務局)

《審査基準表等について説明》

応募団体数(2団体)及び進行方法(1団体、説明7分/質疑13分/合計20分、入れ替え2分)審査基準について説明。

【各団体より説明及び委員質疑】

==まごころ絆==

事業名：『和泉地名スポット名所めぐり製本』

2007年に開催されたアドバイザー養成講座修了者16名で発足し、2008年に団体登録名「まごころ絆」と致しました。今年で17年目、女性8名男性4名の現在12名で活動しております。

今回は、13年前にオアシス活動助成金をいただき作成した「日めぐり」を製本化して書物にしたいという申請です。

発足当時は和泉市のことを全く知らない人が殆どでしたので、何をすることも和泉市のことを知らねばと思いました。和泉市には興味深い名所や地名等が多く、2年ほどかけて和泉市の地名の由来巡りをしてとても感動致しました。いろいろな名所・地名を勉強するに従い、60歳を過ぎた高齢者の者がこんなに感動したことを、一人でも多くの人に知ってもらいたいという強い思いが立ち上がりました。しかし、一人ずつ市民全員に知っていただくわけにもいかないため、まずは郷土史を学習している市内の小学校の3年生に和泉市への愛をもっと深めてもらいたいと始まった「日めぐり」作製でした。お当番さんの小学生が毎日めくると、一年間で同じ日を12回は繰り返し見ることになるので、和泉市の由来・名勝・歴史を身近に知ってもらえる「日めぐり」が良いだろうとなり、「せめて2年は使ってください」「譲り渡してください」ということを条件に和泉市21校区の3年生の学級と市内の図書館に配布致しました。

あれから13年経ち、熱意をもって作成した「日めぐり」はもう小学校には残っていないでしょう。シティプラザの図書館はずっと保管してくださっています。

今年の3月2日開催のフォーラムでは、この「日めくり」をバラバラにして掲示してクイズを行いました。たくさんの老若男女の方が参加してくださり、ステージで朗読をされるという中学生も参加してくださり、最後のアンケートでもとても評判が良かったです。これをもう一度活かさないかと考え製本化するということの助成をお願いしたわけです。

製本化するその理由は、長期間保管するということです。今度は各小学校、出来たら中学校も図書館に置いて有効に使っていただき、長期間たくさんの人、一人でも多くの人に使ってもらえるようにと製本化したいです。和泉市の難しい歴史や文献はたくさんありますがこれはその様なことではなく、本当に楽しんで日常の一環として活用していただけるものと考えております。

和泉市は何といても光明皇后と縁の深い土地でもあり、巡っていくうちに女性の偉大さに気付きます。製本化することにより、授業に取り入れたり家族と話し合っってコミュニケーションの場へと広がるのではないのでしょうか。知る喜び知識の学習だけではなく、市内を見学することにより学習意欲が高まり、当時の先人たちの知恵や努力が脈々と今を生きる私たちの生活に繋がっていることを知り、敬意と感謝の念を持つということになるのです。男女共同参画社会を目指すのは、取りも直さず「人」です。知識があり賢いのに、人間性が豊かでなかったらそれは成り立たないのです。すべての人が心豊かで自分らしく生きることが更なる男女共同参画社会の基礎作りを助長すると信じております。

以上です。

(委員)

この「日めくり」と同じものを作製？

(まごころ絆)

日めくりはもう13年前に終わり、今回はこれを元に製本化し長期間保管ができ、各校区の図書館に置いて皆さんにみてもらいたい。

(委員)

写真等も全部自分たちで撮影したものなのか？13年経つと中身や場所の雰囲気も変わっている。新しいものを新たに入れようという企画計画はないか。

(まごころ絆)

新しいものを取り入れることはない。13年前「日めくり」作製時に、教育委員会より構成や指導を受け内容はOKが出ている。

(委員)

伝え聞いていることと実際にあつたことが混在していることから教育委員会にチェックをしてもらった？

(まごころ絆)

何度も教育委員会に通い指導助言を受け内容を確認。文章は教育委員会より指導が入るので写真だけでも新しく掲載したい。現在、教育委員会で掲載OKな写真を確認してもらっている。

(委員)

写真だけ？元版は何処にある？

(まごころ絆)

13年前のこの「日めくり」が元版。見積もり業者には「日めくり」本体をスキャンして作れることを確認済。

(委員)

「日めくり」からコピーして中身も同じもの？

(まごころ絆)

中身は同じ。

本や歴史書は沢山あるが、この本により生活の中で楽しんで和泉市の良いところの気づきがあると思う。

(委員)

製本して 50 冊作るということ？各小学校に 1 冊と市立図書館に？

(まごころ絆)

自分たちも 1 冊ずつ持つておく。

(委員)

自分たちの分も？

(まごころ絆)

自分たちも買うのだが、資本がない。まずは助成を。今後のことはメンバー内で相談していない。

(委員)

日めくりをそのまま使用ということは、内容も文言も変えない？

(まごころ絆)

内容は一切変えず、表紙のタイトルは名所めぐりと変える。

(委員)

今はスマホでも綺麗な写真が撮れる。この「日めくり」を見たら年代物の画像の印象を受ける。今のリアルな画像があると良いが費用の関係で？

(まごころ絆)

費用の関係もあるが、お寺や建物は急に新しくは変わらない。「日めくり」は 13 年前のものだが、紙自体くすみもなく印刷技術も進歩し綺麗な仕上がりの本になる。

(委員)

申請書内にある、ハードカバー製本表紙が単価 1900 円で 50 部とは高いが、どんな感じ？

長期保管を目指す目的は？厚手とか、何キロのものを使用する、フィルムを張る、手法はいろいろあると思うが？

(まごころ絆)

硬い表紙の方が本としての存在感もあり長期保管できる。また、中の紙も分厚めの紙を使用。表紙だけで高いなと感じるが、いまは全てが値上がりしている。

(委員)

今回の事業はその本を作るのみということ？作って配布する？

12 名のメンバーで地域のスポットを 2 年程かけて巡りすごく感動したと聞いた。この本を作ることが根本的な話で男女共生にどれだけ貢献できる？

前回はオアシスの助成金で作製して、光明皇后の話から女性の偉大さが伝わるとあるが、そこが今回弱いと考える。

(まごころ絆)

前回は許可が下りたので、今回も許可をお願いしたい。

男女共同参画社会といっているが、今の若い人たちの家庭では男女共同参画が行き渡っている。しかし未だに日本では女性の社会進出が少なく、社会的に男女共存共産の仕組みができたとしても、それを担う人はやはり「人」である。組織を構築しても担い手の人が知識ばかりで人間的に豊かでないで困る。やはり社会を運営していくのはやはり個人。まずはその個人の人間性を豊かにし、情緒豊かな人間性があるこそ、男女共同参画の社会を作ったときに素晴らしい社会になると思う。

(委員)

この「日めくり」はどのように役立つ？

(まごころ絆)

郷土愛が芽生える。授業で使用することで、友人たちとコミュニケーションも取れ、また家庭でも話題が出て話し合い、繋がりができていくと考える。

(委員)

一つ一つの場所が男女共同参画的にどういう結びつきがあるかと書き込めればと思う。

(まごころ絆)

そこまでは予算的なこともあり難しい。

(委員)

フォーラムでのワークショップは、良いと感じた。予算の問題もあるが、作製するのなら配って終わりではなく、それを用いた何か男女共同参画的なイベントに繋げたり、集まって何か一般の人に向けてのイベントに使用する等、そういったことがあれば、なお良いと思う。

(まごころ絆)

良いご意見を頂き参考にしたい。内容を変更するならまた一からの教育委員会と相談・指導もあると思う。

(委員)

それは面倒なこと？

(まごころ絆)

大変な作業だった。

(委員)

当時は大変だったが、今回はベースがある。そこに一部を加えていくのはどうか。教育委員会が何か言うのか？

(まごころ絆)

挑戦しないとわからないが、一言を変更するだけでも教育委員会や専門分野の方から指導があり、何度も構成のうえ OK が出た。同様に大変だと意識はある。

(委員)

もう大変なことはやりたくない？

(まごころ絆)

そう言ってしまうと何もできない。この「日めくり」の内容が良いので、なくしてしまうのは惜しいと思う。

(委員)

同じものを作成するのに、男女共同参画のオアシスの助成金というのが難しい。

(まごころ絆)

13年前のものが消耗品に終わった。今回の一番の目的は、製本化することで消耗品にならずに長期間保管し有効活用してもらうこと。

(委員)

教育目的で納得いくところがあるが、例えば教育委員会の方で何か助成金はないのか？

(まごころ絆)

前回、助成金を活用してありがたかったので今回も申請。他の申請等は調べてない。

(委員)

10万円申請しているが、今回5万円の助成でも作製する？

(まごころ絆)

それは困る。

(委員)

見積もりから更に工夫の余地があると思うが、難しい？せっかく作製するなら、新たに男女共同参画の視点を追加すると、なお且つ良い。

何ページか自由に使えるのなら、男女共同参画を踏まえ何か他に紹介するとか、光明皇后の話から当時の女性の立場など膨らんでいくので、工夫し掘り下げたらと思う。

(まごころ絆)

噂だが黄金塚の三つの木棺の真ん中が卑弥呼さんの棺だという話や、光明池公園や女鹿坂（めまざか）の名前の由来や大野の子安阿弥陀の開山等、伝説や伝説以外にも歴史的に貴重なお話は和泉市にはある。

(委員)

その様な話を追加したらどうか。

(まごころ絆)

助成が下りたら相談し進めたいと思う。

== (ローズウッド) ==

事業名：『わたしたちのワークライフインテグレーションに向けて』

私たちは2011年よりアロマセラピーの普及推進活動をしております。

今年はおアシス助成金事業として二つの企画を提案しています。昨年、私たちはスイーツ心理学という言葉を知りました。それは、甘いものを食べると幸せな気持ちになったりポジティブになったりリフレッシュできるということ、また、チョコレートをマインドフルネスイーティングというものをしながら食べると脳の活性化や記憶力のアップに繋がるということ、心理学の統計で立証されているデータを見ながら教えていただきました。心の働きが表面に出る、例えば聞く・見る・話す・覚える・考える・学ぶなどの当たり前の行為が、スイーツ心理学で認知や知覚レベルをアップさせることで、コミュニケーションや社会的行動、対人、集団レベルに、より良い効果を与える可能性があるということを私たちは知りました。このスイーツ心理学を誰にでもわかりやすく大学の専門教員から学んだ後、食物栄養学科の教員から、学生と一緒にチョコレート作りを学ぶというのが最初の企画です。

そして、もうひとつは、アロマキャンドルを親子で作る企画を考えました。アロマの生まれた歴史クイズや香りの効能を学びながら、自分に合うアロマキャンドルを市販されている価格の2割ぐらいの材料費で作ることができます。香りが作用する自分の反応や新しい自分の発見、再認識があることを理解しながら進行していきます。そして、アロマは女性だけではなく、男性にも合う香りが必ず見つかると思います。親子で学び体験しながら、自分の香りを見つけ出せるでしょう。

以上この二つの企画には私達の活動のモットーの一つ、ワークライフバランスの調和を考えて調整するだけではなく、生活が仕事や学校に良い影響を与え、逆に仕事が生きての彩りや心を豊かにしてくれると考えるワークライフインテグレーションを目指したいと考え辿り着きました。仕事と暮らしに境界線を設けず、相乗効果による両方の充実などを図れるような企画をこれからも考え取り組んでいき、これからも市民の皆さんへ私達の活動の趣旨を声に出していきたいと思っています。今までのイタリア料理では、事業費をいただいたのですけれどもいろいろと厳しかったので、もう一度考え直し、原点に戻ってアロマを企画しました。ご検討ください。よろしく申し上げます。

(委員)

お二人がスイーツ心理学の講師？

(ローズウッドー)

はい。前半1時間程度のスイーツ心理の講話後、食物栄養学科の先生と学生でバレンタインに合わせチョコレート作成と考えている。

(委員)

学生とは先生のゼミ生とか？学生への謝礼はどのようになる？助手とはどのような方？学生なのか？

(ローズウッドー)

学生・助手ともに謝礼はなく交通費だけ。ローズウッドーの助手は学生ではなく、キャンドルを固めたり裏方の手伝いで料理も同様。

(委員)

そちらからは何もないかもしれないが、先生は学生に対して何か謝礼する？

(ローズウッドー)

何もない。謝礼等は渡さない。

(委員)

学生を労働させてお金を払わないというのはどうなのだろうと思った、払わないということ？

(ローズウッドー)

はい。

(委員)

予算の食糧費で受講者、講師、飲み物代とあるが、この受講者というのは講座を受けに来た人？

(ローズウッドー)

スイーツ心理学については受講者も含み、アロマキャンドルについては講師、助手、学生。

(委員)

食糧費は外部講師等の弁当飲み物代に限り1,000円上限で、受講者であれば計上不可では？

(ローズウッドー)

対象外とのこと、了解。

(委員)

受講者がはいるとこの金額ではない。参加者が30名に講師と学生と全部入れたら申請書に記載されている17名とは異なる。

(ローズウッドー)

受講者以外の人数分とするところ、誤って記載。

(委員)

印刷出版費1万円でちらしやポスターと記載があるが、どのような広報に？

(ローズウッドー)

2回あるので、2回業者に依頼。

(委員)

掲示する場所などの計画は？

(ローズウッドー)

和泉市一円で配架可能な場所を探し、生涯学習センターや本庁・地域の老人会や自治会にも配架したい。過去には学校にも配架。

(委員)

賃借料で7,000円とは、チョコレートを作るときに調理室を借りる？

(ローズウッドー)

はい、スイーツ心理学の座学についても同室で行う。

(委員)

最初の一時間ぐらい先生のお話、その後チョコレートを実際に作る？

「親子で香育を学ぼう」は賃借料の計上がないが、モアいずみの研修室を使用するということ？

(ローズウッドー)

本研修室を使用。

(委員)

アロマキャンドル作りはどんな形で進める？

(ローズウッドー)

歴史クイズから最初に始め、自分達の活動紹介及び香りの効能を伝え動画や画像で説明。レジュメにて受講者に寄り添い分かりやすく話をし、その後アロマを選んでもらいキャンドルを作製し自作のアロマキャンドルは持ち帰る。

(委員)

アロマキャンドル作りは親子で参加するので、土曜日か日曜日で実施？

スイーツ心理学はバレンタインということで女性だけを対象にする？どんなふうにする？

(ローズウッドー)

アロマキャンドル作りは土・日曜で実施。スイーツ心理学に関しては現時点で未定。

(委員)

日本だと女性から男性に送るのが普通だが、海外だと大切な人に送るというように幅が広がると良い。中身は良いが、男女共同参画の推進にもっと絡めたらと思う。バレンタインをその様に拡大しグループで創意工夫して進めていけば良いと思う。その様な切り口にして、男性も女性も広く募集すると良い。最初は結構女性向けだったが、ちょっと工夫すると良い。打ち出し方によっては結構面白くなる。

(ローズウッドー)

大切な方へ送るという、男性も女性も関係なくその様なコメントで募集すれば広く良くなる。企画変更を見据えて和泉市で発信できたらと思う。

(委員)

保育料の項目の保育担当者2名で時給1,000円として、スイーツ心理学が3.5時間でアロマキャンドル作りは2.5時間という考え方？これは備考の保育2時間は関係なし？

(ローズウッドー)

備考欄の記載は誤りのため不要。

(委員)

いろいろな企画があると思うが、保育はどんな感じか？保育担当者を2名依頼するほど預けがある？保育はあった方がよい？

(ローズウッドー)

保育は減少傾向にはあるが、必要と考える。

(委員)

バレンタインの意義を学びチョコレートがもたらす私達の体に対する心理学の2つを学べるのが面白い。



(ローズウッド)

私たちも初めて心を理学することを学び、統計でこんなに出ていると分かった。内容が難しいので一般の人だとどうかと思ったが、講義を聞くような講座だったので、親しみやすくしたかった。そういう意味で講座を合わせた。年齢層が変わるのかもとも思う。前は先生だけだったが、学生も一緒に学んでいる様子などをホームページで見て、一緒にしてもらえたらと思い相談した企画。

**【委員審査】**

(委員長)

(事務局への集計依頼)

(事務局)

(順位・結果発表)

(審査会終了)